

令和8年度 諏訪市産業連携事業補助金審査結果

No	プロジェクト名	連携体代表者	内 容（ 概 要 ）	採択額 (千円)
1	伝統技術を生かした鞆商品の開発	有限会社赤羽七宝舎	赤羽七宝舎・石柳北原・山田住建の3社が連携し、七宝焼き・じぐじ石・櫨製漆器を組み合わせた新たな工芸品（アロマストーンとケース）を開発する。各社の技術を活かした試作と販促を行い、体験工房やSUWAプレミアム登録を通じて伝統技術と神宮寺の歴史を発信することで、地域ブランド価値向上と誘客促進を図る。	380
2	旅の思い出を形にする観光連携	エスジービズ合同会社	観光施設等にQRコードを設置し、旅行中の写真をスマホから送るだけでガラスフォトプリント商品を注文できる仕組みを整備する。観光体験の価値向上を図るだけでなく、施設の成果報酬により地域事業者の収益機会を広げることも期待できる。将来は再生ガラス製品へ展開し、観光と資源循環を結び付けた地域モデルの構築を目指す。	1,000
3	信州ディア商品開発プロジェクト	UNYdesign	信州産の鹿皮が十分に活用されず廃棄されている現状を踏まえ、鹿皮と漆を組み合わせた商品開発を行う。柔軟な鹿皮を立体成形し漆で固める伝統技法に、3Dプリンターによる型製作を加えることで多様なデザインを可能にし、食器や文具などの商品化を図る。資源循環、伝統技術の継承、地域ブランド創出を目的とする。	410
4	諏訪の古材と古ガラスの循環プロジェクト	株式会社ReBuilding Center JAPAN	諏訪の古材や昭和型板ガラスをアップサイクルした製品を共同開発し、台北展示会で「資源循環ショールーム」として発信する。台湾語ツール制作や台南での循環モデル調査を通じて海外販路を広げ、諏訪市アトリエでの展示販売へ誘導して循環型ものづくりを体感できる拠点として誘客を促進する。	1,000
5	「霧ヶ峰の音を持ち帰る」霧の鐘プロジェクト	株式会社アポルタ	霧ヶ峰の象徴である霧鐘塔の鐘をモチーフにした熊鈴を開発し、風景や音、地域技術の一つの商品に込めた新たな地域ブランド商品を創出する。日常的に使える高品質な工芸品として土産品の価値を高め、旅の記憶を音として持ち帰る体験を提供することで観光消費を拡大し、地域産業の認知向上と再訪意欲の向上につなげる。	580

○ 補助率2/3、限度額100万円

○ 5社から申請があり、5名の審査委員により上記5社を選定

経済部商工課工業・ブランド振興係（内線433）